

# 響く鳴子 避難所に笑顔

宮城

被災地をより立てる鳴子のリズムー。東日本大震災発生から100日目の18日、県内有志によるボランティア団体「宮城県を元気にする高知応援隊」が、今も多くの人が暮らす避難所を訪問。にぎやかな鳴子踊りに笑顔が広がった。

応援隊は若手経営者を中心に結成。57人が17、19日の日程でがれき撤去

大震災100日 本県有志が訪問

## よさこいで元気届ける

などを行っており、18日「ましようー」。突然のは気仙沼市の気仙沼高校「ミニよさこい祭り」開校の二手に分かれ、被災校の一手に分かれ、被災者を激励した。

気仙沼高校では、高知特産野菜のスープや土佐あかうしカレーなどを振

る舞った後、鳴子を手渡して「さあ、一緒に踊り後から避難所暮らしを強

いられている紺野和人さん(59)は「黒潮でつながる高知から、はるはる来ていた」と感激した様子。

応援隊副隊長の磯木保広さん(44)「高知市東久万」も「よさこいで笑顔になってもいいうれしかった。来てよかった」

と、高知との距離感を縮めて満足そうだった。(写真と文・佐藤邦昭)

高知の有志が避難所でよさこい交流。体育館いっばいに鳴子が響いた (宮城県気仙沼市の気仙沼高校)

